

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月 1日

事業所名 あひろば丸岡

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		極力死角を少なくし全体を見渡しやすくしており、2Fへ行く際も、必ず職員の付き添いを行っています。	
	2	職員の配置数は適切である		○			今後も児の人数や状況に応じた適切な配置を心がけていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			玄関やトイレ部分に手すりがあると良い。建物の構造上の関係から難しい部分もありますが、出来る限り対応させて頂きたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		毎日の朝礼や定期的なミーティング時において情報共有や課題の分析・改善にあたっています。 小さなことでも職員同士が話すように心がけています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者の要望には出来るだけ応えられるよう、これからも配慮していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		弊社HP上で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			現在は第三者による外部評価を行っていませんが、状況に応じて検討を行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的な内部研修を行っています。	状況をみながら外部での研修へも、これまで以上に積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			計画作成時には、事前に保護者面談を行い、ニーズの確認や課題の分析を行っています。	保護者、本人のニーズを大切にし、計画づくりを行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートなどを使用しながら、状況の確認や分析を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全職員で月毎のプログラムの内容について話し合いを行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童や職員の意見を反映させながら、同じような内容にならないようプログラム作りを行っています。	利用者にとってやりやすい、楽しめる内容を今後も考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		平日・長期休暇など、それぞれにおいて活動の内容や課題を調整しながら支援を行っています。	平日・学校休業日、それぞれの特性を活かしながら、より細かく児への支援に反映させていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			運動療育などの集団活動と日々の余暇活動などを、児童の状態に併せながら計画に反映させたり、実施したりしています。	より専門性の高い計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		勤務開始の朝礼時に、申し送り、スケジュール、活動の担当など確認しています。回覧ノート、資料等も取り入れています。	「報告」「連絡」「相談」は重視しつつ、職員にとってやりやすい、伝わり易い環境整備を計っていきます。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		時間の都合上などから、出来る場面と出来ない場面がありますが、出来るだけその日のことはその日に振り返りをしています。	休みの職員への申し送りもしっかり行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個別記録を利用日ごとに記入しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを実施し、振り返りを行いながら、次の計画の作成に繋がっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○		適切な事業運営が出来るよう、定期的に研修等を通じて再確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		サービス担当者会議においては、対象となる児の担当職員、もしくは施設長・児発管が状況に応じて出席しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			保護者の方や学校側と連絡を取りながら、情報共有や調整を図っています。送迎時には、その日の出来事等を聞いています。	放デイ内での出来事などについても、必要に応じて学校側との情報共有を図っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		「てんかん」などの基礎疾患を持つ方に関しては、保護者様と事前に対応について話し合っています。	状況に応じて、医療機関も交えながら対応や連絡体制についての情報共有を図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者様からの聞き取りを中心に、家庭や保育所等での様子を伺っています。	状況に応じて、移行支援会議などを通じて連携や情報交換などを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			現在、卒業後、障害福祉サービス事業所等へ移行した実績が無い状況ですが、必要に応じて放デイでの様子や状況などの情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		地域の社会福祉協議会の研修やイベントなどに出席しています。	今後も必要に応じて、専門機関の研修などに職員を派遣していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			新型コロナウイルス感染拡大の影響で、取り組みを自粛している状況ですが、保護者の意見等考慮しながら交流の機会を検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		地域の社会福祉協議会の研修やイベントなどに出席しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳などのツールを用いながら、保護者と情報共有や意見交換を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			現在は保護者とのペアレントトレーニングを行っていませんが、状況や必要に応じてペアレント・トレーニングの実施を検討していきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		契約時や個別支援計画の面談の際、または必要に応じて個別で説明をさせて頂いています。	今後もしも不明な点がございましたら、お気軽にお申し付け下さい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			アセスメントや個別支援計画の面談の際に最近の状況の聴き取りや、情報交換などを行っています。	お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			現在は行っていないですが、子育ての悩みや情報の交換を進めていくため、保護者同士の交流の場の設置について必要に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情・相談に対する窓口を設置しています。迅速かつ丁寧な対応を心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的にHP上のブログにおいて、活動内容を掲載させて頂いたり、月毎のプログラムを提示させて頂いたりしています。	今後とも、あひろば丸岡での活動を広く知って頂ける取り組みを行っていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児の特性に合わせた伝え方を行っています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			新型コロナウイルスの感染状況を窺いながら、開催についても検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせて、その都度おたよりを配布させて頂いています。	防犯対策マニュアル、緊急時の対応マニュアルについても、保護者の方に広く周知出来るような取り組みを検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に避難訓練を実施させて頂いています（児も含めて）。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に職員への虐待防止についての研修の機会を確保しています。	今後とも研修などを通じて虐待の防止、早期発見に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		利用者契約書に身体拘束等の禁止について記載しており、契約時などにおいて対応についてご説明させて頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者の方からの情報提供を受け、その情報を基に対応をさせて頂いています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			案件毎に報告書を作成し、再発防止に努めています。	今後も施設内で起きたこと、他施設で起きたことを自分たちにも起こりうる事と思い業務に取り組んでいきます。